

日本植物分類学会 第11回大阪大会 プログラム

日程 2012年3月23日（金）～25日（日）

会場 大阪学院大学 （大阪府吹田市岸部南2-36-1）

2号館 B1-02 教室（口頭発表・総会・公開シンポジウムすべて）

2号館 1階アトリウム（ポスター発表）

3月22日 午後

14:00～16:00 編集委員会（京都大学理学部2号館 京都市左京区追分町）

16:00～19:00 評議員会（同上）

3月23日 午前

口頭発表（◎:発表賞エントリー，*:発表者，★:求職中）

9:00～9:15 O-01[○] 柱頭葯間多型を示すジンリョウユウリの近交弱勢 横田静香*・矢原徹一

9:15～9:30 O-02[○] 植物群集レベルでの分布変遷過程の解明を目指して ―地理情報システムを活用した比較分子系統地理学のアプローチ― 岩崎貴也*★・青木京子・瀬尾明弘・村上哲明

9:30～9:45 O-03[○] 琵琶湖岸に陸封されたハマエンドウの形態的・生理的分化の検証 大槻達郎*・村井良徳・岩科司・瀬戸口浩彰

9:45～10:00 O-04[○] 西表島で発見されたコケシノブ科未知種配偶体の解析 石渡友梨*★・今市涼子・海老原淳

10:00～10:15 O-05[○] シダ植物配偶体の初期形態と菌共生 迫田曜*・枝百合・森田奈菜・今市涼子

10:15～10:30 O-06[○] イワカガミ属の分布変遷に同調した地域的な葉緑体 DNA 置換 東広之*・阪口翔太・池田啓・井鷲裕司・瀬戸口浩彰

10:30～10:45 休憩

10:45～11:00 O-07[○] 微細緑藻 *Chloromonas* sp. EbCl-8 株の近縁種との核 internal transcribed spacer 2 二次構造比較と種分類 松崎令*・仲田崇志・原慶明・野崎久義

11:00～11:15 O-08[○] 日本産紅藻ワツナギソウ属の分類 鈴木雅大*★・橋本哲男・北山太樹・野崎久義

11:15～11:30 O-09[○] 食虫植物ムラサキヘイシソウにおける杯葉の発生メカニズム 福島健児*・山口貴大・塚谷裕一・長谷部光泰

11:30～11:45 O-10[○] エゾクロクモソウ *Saxifraga purpurascens* 群(ユキノシタ科)の分類学的再検討

福田知子[○]★・Taran A. A. ・Okrugin V. M. ・高橋英樹・池田博

11:45～12:00 O-11[○] キノコ類の子実体生産の季節変動～菌根菌と腐生菌でフェノロジーに違いはあるのか?～ 佐藤博俊*・服部力

12:00～13:00 昼食休憩

3月23日 午後

口頭発表（◎:発表賞エントリー，*:発表者，★:求職中）

13:00～13:15 O-12[○] ミヤコグサの開花時期変異とこれを制御する遺伝子群の多型：種内の進化をもたらす機構

呉ハナ*・川口正代司・原田久也・瀬戸口浩彰

13:15～13:30 O-13[○] ニガキ科（ムクロジ目）の生殖器官の発生学的研究：特に閉塞組織の進化に関して 山本武能*・戸部博

13:30～13:45 O-14[○] A phylogenetic view of habitat transitions in the aquatic genus *Sparganium* (Typhaceae)

伊藤優*★・Hugo Cota-Sanchez・Changkyun Kim・田中法生

13:45～14:00 O-15[○] 日本産カンアオイ節植物における分子系統解析 後藤なな*・奥山雄大・菅原敬

14:00～14:15 O-16[○] シハイスミレにみられる種間交雑の形跡と山形県に分布するシハイスミレの形態的・遺伝的特徴

吉田政敬*・早川宗志・福田達哉・横山潤

14:15～14:30 休憩

14:30～14:45 O-17[○] 落葉樹林構成種の近畿・中国地方にみられる遺伝的境界線 戸野晶喬*・瀬尾明弘・岩崎貴也・村上哲明

14:45～15:00 O-18 白亜紀の福島県広野町に、マダガスカルの固有科である Didymelaceae が、、！？

高橋正道*・Patrick S. Herendeen・Xianghui Xiao・Peter R. Crane

15:00～15:15 O-19 北海道固有種シレットコスミレの系統分類学的位置 東隆行*・高橋英樹

15:15～15:30 O-20 隠岐諸島の植物多様性とその保全 林蘇娟*・山根史博

ポスターセッション1

15:30～17:00 （**奇数番号**：発表賞エントリーした発表）

3月24日 午前

口頭発表（*:発表者）

9:00～9:15 O-21 海産ユーグレナ藻ユートレプチア目の分類学的研究 川口明音*・横山亜紀子・山口晴代・中山剛

9:15～9:30 O-22 ボルボックスの2新種について 野崎久義*

9:30～9:45 O-23 *Chlamydomonas parallelistriata* 種群（緑藻綱，オオヒゲマワリ目）の分類と進化 仲田崇志*・新川はるか・佐藤暖・富田勝

9:45～10:00 O-24 地衣類サルオガセ属の DNA バーコーディングに向けて 大村嘉人*

10:00～10:15 O-25 ゼンマイ類における展葉フェノロジーと種分化 角川（谷田辺）洋子*・堤千絵・加藤雅啓

10:15～10:30 O-26 ゼンマイ属(*Osmunda*)の無孢子生殖と倍数体形成について 山住一郎*

10:30～10:45 休憩

10:45～11:00 O-27 植物園の全きのこバーコーディングからわかる多様性

保坂健太郎*・宇野邦彦・南京沃・西堀和男・村松義昭・大塚恵・塚越一也・服部真由美・斉藤由紀子

11:00～11:15 O-28 形態と分子系統に基づくエリマキツチグリ複合種の分類学的研究 糟谷大河*・保坂健太郎・宇野邦彦・柿寫眞

11:15～11:30 O-29 ブナ林を中心とした菌類・植物共生網の解析 細矢剛*・保坂健太郎・奥山雄大・大村嘉人・樋口正信・門田裕一・齋藤由紀子

11:30～11:45 O-30 日本列島におけるトチノキの系統地理：葉緑体 DNA ハプロタイプ、核 DNA SSR, 生態ニッチモデリングによる考察

菅原可奈子・金子有子・阪口翔太・伊藤哲・山中啓介・崎尾均・星崎和彦・鈴木和次郎・山中央一・井鷲裕二・瀬戸口浩彰*

11:45～12:00 O-31 日本産ホシクサ属（イネ目ホシクサ科）の分子系統と分類学的再検討 絹川裕貴・東浩司・田村実*

3月24日 午後

12:00～14:00 昼食休憩+ポスターセッション2（**偶数番号** 発表賞エントリー以外の発表）

14:00～15:30 総会 学会賞授与式

15:30～17:30 日本植物分類学会賞 受賞記念講演（2011年度ならびに2012年度受賞者）

18:00～ 懇親会

3月25日 午前

口頭発表（*:発表者，★:求職中）

9:00～9:15 O-32 新潟県産アザミ属（キク科）の5新種 門田裕一*・三浦憲人

9:15～9:30 O-33 ミセバヤとエッチェウミセバヤに含まれるフラボノイド成分の化学分類学的比較 岩科司*・中田政司・瀬戸剛

9:30～9:45 O-34 スナヅル属（クスノキ科）2種における分類再検討と隔離分布の検証

國府方吾郎*・中村剛・平山裕美子・Paul I. Forster・横田昌嗣

9:45～10:00 O-35 福島県相馬市松川浦の植物相と植生の震災後の変化 黒沢高秀*・江田至・杉山廣雄

10:00～10:15 O-36 日本新産帰化植物アカミノアカネ *Rubia cordifolia* L.と在来種クルマバアカネの学名 米倉浩司*

10:15～10:30 休憩

10:30～10:45 O-37 北米固有属 *Leitneria*（ニガキ科）の花序と花の形態の再研究 ― 特に「異常な胚珠の位置」について 戸部博*

10:45～11:00 O-38 ツガザクラ（*Phyllodoce nipponica*）における核遺伝子と葉緑体の矛盾した地理構造 池田啓*★

11:00～11:15 O-39 SCAR マーカー利用による複合種ニガナ(*Ixeridium dentatum*)種内系統の識別 田中啓介*★・高原美規

11:15～11:30 O-40 被子性の進化とサイトカイニンの制御 山田敏弘*・Charles S. Gasser

11:30～11:45 O-41 日本産セリ科シンウド属の系統分類 東浩司*・望月啓太・小森晴香

3月25日 午後 13:00～16:00

日本植物分類学会公開シンポジウム 『市民とともに ～地域の植物研究での連携と成果』

13:00～13:10 日本植物分類学会会長挨拶 戸部博

13:10～13:45 「高知県植物誌 ―みんなでつくる植物誌―」 藤川和美（高知県立牧野植物園）

13:45～14:20 「プロジェクトY～みんなで自然を調べよう 淀川・大和川自然調査プロジェクト9年間の軌跡～」 志賀隆（大阪市立自然史博物館）

14:20～14:40 休憩

14:40～15:15 「吹田くわいの歴史と文化」 北村英一（吹田くわい保存会）

15:15～15:50 「市民参加調査からわかった西日本のタンポポ」 鈴木武（兵庫県博）

15:50～16:00 閉会の辞

| | | | | | | | | | |
|------------------|--|-----------------|--------------|--------------|------------|--------|--------|-------|-------|
| 発表賞エントリー | ポスター発表 | (奇数番号+〇) | (*発表者 | ★求職中) | | | | | |
| | ポスターセッションは | 23日 | 15:30~17:00 | | | | | | |
| P01 ^〇 | 菌寄生性ヒナノシャクジョウ属 | 2種間に見られる菌根菌の共有 | 末次健司* | ・川北篤 | ・加藤真 | | | | |
| P03 ^〇 | 高山植物ハクサンオオバコと低地性植物オオバコの雑種形成過程の解明ーハクサンオオバコ, オオバコおよびそのF1雑種の開花習性ー | | | | | | | | |
| | 佐野沙樹* | ・中山祐一郎 | ・野上達也 | ・吉本敦子 | ・柳生敦志 | | | | |
| P05 ^〇 | 広義シマフジバカマにおける分子データを用いた系統関係の把握 | | 齊藤由紀子* | ★・中村剛 | ・彭鏡毅 | ・横田正嗣 | ・國府方吾郎 | | |
| P07 ^〇 | 複数のハイマツ・キタゴヨウ交雑帯の遺伝的構造の比較解析 | | 富士本和人* | ・綿野泰行 | | | | | |
| P09 ^〇 | 在来タンポポ駆逐の個体群差異ーセイヨウによる駆逐を繁殖干渉で統一的に説明するー | | | | | | | | |
| | 橋本桂佑* | ・金岡雅浩 | ・高倉耕一 | ・西田隆義 | ・西田佐知子 | | | | |
| P11 ^〇 | 日本産シマオオタニワタリ類の前葉体の成長過程の観察 | | 山田香菜子* | ・角川(谷田辺)洋子 | ・村上哲明 | | | | |
| P13 ^〇 | クサトベラの種子散布様式が異なる2型の地理的分布 | | 栄村奈緒子* | ・宮田和裕 | ・上田恵介 | ・酒井美由紀 | ・傳田哲郎 | | |
| P15 ^〇 | シイとそれを食する複数の植食性昆虫に共通する遺伝構造 | | 青木京子* | ★・上野真義 | ・津村義彦 | ・村上哲明 | ・加藤 真 | | |
| P17 ^〇 | ツワブキならびにポタンボウフウの八重山諸島および周辺地域間での花粉／種子散布の推定にもとづく遺伝子流動の地理的パターン | | | | | | | | |
| | 瀬尾明弘* | ★・村上哲明 | | | | | | | |
| P19 ^〇 | オオウメガサソウ (<i>Chimaphila umbellata</i>) の菌根菌相の解析と菌依存性の検証 | | 野島大志* | ・坂本裕紀 | ・横山潤 | ・牧雅之 | | | |
| P21 ^〇 | 渡良瀬遊水地におけるノダイオウと同属外来種の交雑における研究 | | 小林大輝* | ・藤井伸二 | ・石濱史子 | ・牧雅之 | | | |
| P23 ^〇 | 蘚類センボンウリゴケ <i>Timmia anomala</i> の日本国内での分布と分子系統学的研究 | | 井上侑哉* | ・内田慎治 | ・向井誠二 | ・坪田博美 | | | |
| P25 ^〇 | 植物標本の高速デジタル化技術の開発と維持管理が簡便なデジタル標本館の構築 | | | | | | | | |
| | 森口淳樹* | ・木戸佑子 | ・山根渉 | ・萬代功 | ・前田修宏 | ・有川智己 | ・井上雅仁 | ・林蘇娟 | ・秋廣高志 |
| P27 ^〇 | Gymnostachys (サトイモ科, 原始サトイモ類) の胚珠の発生とその特徴 | | 門川朋樹* | ★・戸部博 | | | | | |
| P29 ^〇 | キク科二倍体におけるアルコール脱水素酵素の重複遺伝子の配列比較 | | 西内美穂子* | ・矢原徹一 | ・西野貴子 | | | | |
| P31 ^〇 | 裏磐梯五色沼湖沼群の水生植物相および分布の変化 | | 首藤光太郎* | ・森康裕 | ・黒沢高秀 | | | | |
| P33 ^〇 | 西日本に点在する低地性2倍体タンポポの遺伝的特性 | | | | | | | | |
| | 梅田育実* | ・竹内花織 | ・和食敦子 | ・藤川和美 | ・安岡幸子 | ・永松大 | ・芹沢俊介 | ・渡辺幹男 | |
| P35 ^〇 | カヤツリグサ科ノグサ属ノグサの分類学的研究 | | *矢野興一 | ・池田博 | | | | | |
| P37 ^〇 | サワシロギクと蛇紋岩性近縁種シブカワシロギクの繁殖戦略 ー結実率やアロメトリーをもとにー | | | | | | | | |
| | 大久保理子* | ・西内美穂子 | ・船木拓也 | ・藤井伸二 | ・中山祐一郎 | ・西野貴子 | | | |
| P39 ^〇 | 白亜紀絶滅裸子植物繁殖器官内の甲虫の蛹化石の生態学的意義 | | 邑田有芸* | ・西田治文 | ・朝川毅守 | | | | |
| P41 ^〇 | 広義ニシノホンモンジスゲ (カヤツリグサ科) におけるクローナル成長パターンの地理的変異 | | 横井力* | ・佐藤利幸 | | | | | |
| P43 ^〇 | 小笠原諸島固有種ムニンハナガサノキ (アカネ科) の起源と性表現の進化過程を探る | | 小栗恵美子* | ★・菅原敬 | ・彭鏡毅 | ・村上哲明 | | | |
| P45 ^〇 | Phylogeography of a pantropical plants with sea-drifted seeds: <i>Ipomoea pes-caprae</i> : evidence from single copy nuclear genes | | | | | | | | |
| | Matin Miryeganeh* | ・梶田忠 | | | | | | | |
| P47 ^〇 | キク属と類縁の植物に含まれる配糖体フラボノイドとその特性 | | 上原歩* | ・中田政司 | ・岩科司 | | | | |
| P49 ^〇 | 絶滅危惧植物ニオイエビネにおける浸透交雑の実態ー次世代シーケンサーを用いて開発したSSR マーカーによる解析ー | | | | | | | | |
| | 伊東あずさ* | ★・遊川知久 | ・世羅徹哉 | ・石田源次郎 | ・井鷲裕司 | | | | |
| P51 ^〇 | 小笠原諸島の固有木本種にみられた明瞭な遺伝構造 ーシマホルトノキにおける事例ー | | | | | | | | |
| | 須貝杏子* | ・鈴木節子 | ・村上哲明 | ・加藤英寿 | ・吉丸博志 | | | | |
| P53 ^〇 | シュンラン属の生活形・栄養摂取様式の進化ー11: 光合成能力の系統比較 | | 野村尚史* | ★・上野修 | ・遊川知久 | | | | |
| P55 ^〇 | オオシャジクモ種内 (シャジクモ目シャジクモ科) の新規系統に関する分類学的研究 | | 加藤将* | ★・川井浩史 | ・柴田葵 | ・坂山英俊 | | | |
| P57 ^〇 | テンナンショウ属植物ユキモチソウとアオテンナンショウにおける遺伝的交流について | | | | | | | | |
| | 早川宗志* | ★・松山佳那子 | ・濱地秀徳 | ・大賀教平 | ・横山菜々子 | ・横山潤 | ・荒川良 | ・福田達哉 | |
| P59 ^〇 | タニウツギ属植物における花色変化の機構と生物学的意義の解明 | | 下川悟史* | ・村上哲明 | ・岩科司 | | | | |
| P61 ^〇 | 次世代シーケンスデータを用いた分子マーカーの開発への展望ーゼンマイとヤブソテツでの事例ー | | 大槻涼* | ★・平山裕美子 | ・角川(谷田辺)洋子 | | | | |
| P63 ^〇 | 筑波山で見出されたタニヘゴとハチジョウバニシダの新雑種 | | 山本薫* | ・岡利雄 | ・岡武利 | ・海老原淳 | ・村上哲明 | | |
| P65 ^〇 | 早春に咲く花 ハヤザキヒョウタンボクの送粉様式 | | 中路真嘉* | ・菅原敬 | | | | | |
| P67 ^〇 | キク科における”ツツザキ”形態の出現 | | 中川さやか* | ・伊藤元巳 | | | | | |
| P69 ^〇 | 遺伝情報を用いた南極域に産するBryum 属蘚類の分類学的再検討* | | 加藤健吾* | ・伊村智 | ・神田啓史 | | | | |
| P71 ^〇 | 蘚類アカイチイゴケ Pseudotaxiphyllum pohliaecarpum 種内の多様性 | | 久保晴盛* | ・向井誠二 | ・坪田博美 | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|---------------|------------------------------------|---------------|--------|--------------------|--------|--------|
| 一般 | ポスター発表 | (偶数番号) | (*発表者, ★求職中) | | | | | |
| | ポスターセッションは | 24日 | 12:00~14:00 | | | | | |
| P02 | 日本に「ヤブカラシ」は何種分布するか? | | 岡田博*・塚谷裕一・石川直子 | | | | | |
| P04 | 日本産ザゼンソウ属の分類・地理 | | 大塚孝一* | | | | | |
| P06 | ツツジ亜科植物根系に生息するビョウタケ目菌類の本邦における系統的多様性 | | 広瀬大*・細矢剛 | | | | | |
| P08 | オオバギボウシとコバギボウシの比較系統地理学的研究 | | 李尚龍*・牧雅之 | | | | | |
| P10 | 日本で発見されたウスヒメワラビモドキとその正体 | | 海老原淳*・松本定・宮崎弘規 | | | | | |
| P12 | 絶滅危惧かつ侵入種である日本のヒメフウロ | | 西田佐知子*・東浩司・内貴章世・小川誠 | | | | | |
| P14 | 奄美大島で新たに確認されたカンアオイ属 2 新分類群 | | 菅原敬*・田畑満大 | | | | | |
| P16 | タカトウダイ群の阿蘇における変異ー希少種アソタイゲキとはー | | 石崎将悟・藤井紀行* | | | | | |
| P18 | 小笠原母島沖産コンブ目藻類「アントクメ」の帰属について | | 北山太樹*・並河洋・駒澤一朗・高瀬智洋・諏訪剛・寺田竜太・羽生田岳昭 | | | | | |
| P20 | ネパール産ユキノシタ属とチシマイワブキ属の分類 (ユキノシタ科) | | 秋山忍*・Richard J. Gornall | | | | | |
| P22 | 津波被害により被災した植物標本の修復法 | | 布施静香*・山本伸子・高橋晃 | | | | | |
| P24 | 博物館標本の種子は生きている？: 標本種子を用いた絶滅集団復元の試み | | 志賀隆* | | | | | |
| P26 | 葉緑体 DNA と AFLP 解析を用いた溪流沿い植物ケイリュウタチツボスミレの系統地理学的解析 | | | | | | | |
| | 三浦千明*・山城考 | ・横山潤 | ・塚谷裕一 | ・陶山佳久 | ・牧雅之 | | | |
| P28 | 黒潮周辺海域における真核性ピコプランクトンの多様性 | | 山口晴代*・出村幹英 | ・杉崎宏哉 | ・河地正伸 | | | |
| P30 | アリドオシ属 (アカネ科) における倍数化に伴う自家和合性の進化 | | 内貴章世*・永益英敏 | | | | | |
| P32 | カヤツリグサ科スゲ属スカスゲ節の分子系統学的研究 | | 正木智美*・星野卓二 | | | | | |
| P34 | 渡良瀬遊水地で発見されたタデ科の新雑種 | | 大和田真澄 | ・芹沢俊介 | ・渡邊幹男* | | | |
| P36 | 広域分布種ツリガネニンジン類の日本列島における地理的変異 - 外部形態と葉緑体 DNA を用いた地理的構造の解析 - | | | | | | | |
| | 楠見マリ* | ・東浩司 | ・志内利明 | ・岡崎純子 | | | | |
| P38 | ノグルミ(クルミ科)の異型異熟性と送粉者 | | 福原達人*・徳丸真一朗 | | | | | |
| P40 | 大阪市立大学理学部附属植物園内で発見された絶滅危惧種アイナエ (マチン科) の繁殖生態 | | | | | | | |
| | 岡崎純子* | ・鶴田翔子 | ・山下純 | ・植松千代美 | | | | |
| P42 | 葉緑体 DNA 変異に基づくセキショウモ類の遺伝的分化 | | 早稲倉速人*・藤井伸二 | ・牧雅之 | | | | |
| P44 | 絶滅危惧植物オグラセンノウの遺伝的多様性と遺伝構造 | | 山崎高志*・小関圭一 | ・藤井紀行 | ・竹原真理 | ・横川昌史 | ・兼子伸吾 | ・井鷲裕司 |
| P46 | オンシロバナの花色とスズメガの訪花頻度の関係 | | 新村芳美*・梶田忠 | | | | | |
| P48 | iPiS : plant identification system の構築と Web 上での公開 | | 木戸佑子 | ・森口淳樹 | ・山根渉 | ・萬代功 | ・前田修宏 | ・秋廣高志* |
| P50 | 東アジア固有海草コアマモの起源と分散 | | 田中法生*・伊藤優 | ・平山裕美子 | ・斉藤憲司 | ・仲岡雅裕 | | |
| P52 | 種？雑種？-ミソハギ・エゾミソハギ中間型の存在様式 | | 芹沢俊介* | ・稲垣朝子 | | | | |
| P54 | 絶滅危惧水生植物オグラコウホネ Nuphar oguraensis の遺伝的変異 | | 厨子雅人*・志賀隆 | ・光田重幸 | | | | |
| P56 | I T S 領域によるオケラ属生薬基原植物の系統解析 | | 石川寛*・工藤輝久 | ・高田優美子 | ・星野あずさ | ・福田達男 | ・荒金眞佐子 | |
| P58 | 伊豆諸島固有種イズイワギボウシと本州近縁種イワギボウシにおける花部形態と訪花昆虫相の比較 | | 山田孝幸* | ・牧雅之 | | | | |
| P60 | 高知県植物誌 (2009) 出版以降に確認された新産種 | | 藤川和美*・前田綾子 | ・田辺由紀 | | | | |
| P62 | インドネシア、東カリマンタン産地衣類数種の新産報告 | | 宮脇博巳*・山口富美夫 | ・清水英幸 | | | | |
| P64 | アンモニア菌の複合種ザラミノヒトヨタケの生物地理的分布 | | 吹春俊光*・清水公徳 | ・田中千尋 | ・鈴木彰 | ・Peter K. Buchanan | | |
| P66 | 葉緑体遺伝子大規模データセットに基づくセン類の分子系統解析 | | 定光淳 | ・坪田博美* | ・嶋村正樹 | ・柳原恵子 | ・山口登美夫 | ・出口博則 |
| P68 | 日本および韓国産ササバギラン利用菌根菌の比較研究 | | 坂本裕紀* | ・横山潤 | ・牧雅之 | | | |
| P70 | Biodiversity Assessment of Asian Legumes: An Introduction | | | | | | | |
| | Mohamad Vatanparast* | ★・梶田忠 | ・Fumiko Ishihama | ・Yusuke Onoda | ・舘田英典 | ・矢原徹一 | | |
| P72 | 長野県および千葉県に生育するシャジクモ属(シャジクモ目、シャジクモ科)の未記載種について | | | | | | | |
| | 坂山英俊* | ・加藤将 | ・樋口澄男 | ・佐野郷美 | ・野崎久義 | ・川井浩史 | | |